

2 0 2 6 年度

第 3 回 理事会 議事録

公益財団法人北海道サッカー協会

2026 年度 第 3 回 理事会

議 事 録

1. 日 時 : 2026年7月28日(火) 19時00分から20時08分

2. 場 所 : 北海道フットボールセンター 3F 会議室 WEB会議
札幌市豊平区水車町5丁目5-41

3. 出席状況 (以下全て敬称略)

- (1) 理事総数 29名
- (2) 理事定足数 15名
- (3) 理事出席総数 25名

(4) 会場出席理事(4名)
越山 賢一、長浜 光弘、船田 清、八島 隆志

(5) WEB会議システムによる出席理事(21名)
杉原 賢、大岩真由美、大橋 穰、上田 充士、後藤 猛、藤井 陽一、阿部 洋介、
佐藤 英隆、野呂 雅友、中川 綾子、山下 浩司、當宮 行博、磯辺 正道、對馬 紀一、
高橋 健太、橋本 誠司、野田 篤志、鈴木 敏之、斎藤 正倫、高橋 勇樹、本山 哲司

(6) 欠席理事(4名)
佐賀 主昌、石尾 浩一、北国 浩、谷口 直寿

(7) 会場出席監事(1名)
山田 純之

(8) WEB会議システムによる出席監事(1名)
吉川 賀恵

(9) 欠席監事(1名)
永浦 政司

記録: 安芸瑞穂事務総長

4. 議 事

＜決議事項＞	第1号議案	2026-27 特任理事選任の件
	第2号議案	2026-27 名誉役員選任の件
	第3号議案	役員報酬の件
	第4号議案	協会旗及び標章規程改正の件
	第5号議案	現物寄付資産の決算計上及び会計処理の件
	第6号議案	2026-27 各種委員会(特別委員会)委員長選任の件

＜報告事項＞	第1号報告	四役の所掌担務について
	第2号報告	副会長の通信費について
	第3号報告	2026-27 部会長の委嘱について

(1) 定足数確認・議長選出

安芸事務総長より、本会議はWEB会議システムにより開催され、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意思表示が互いのできる状態であることが確認された。

理事総数29名中出席理事25名、欠席理事4名であり、定足数15名を満たしていることから、定款第37条第1項に基づき、本会議は有効に成立していることが報告された。続いて、定款第37条に基づき越山会長が議長となることを告げた。

(2) 議事録署名人・書記の選出

安芸事務総長より、定款第38条の規定により、本会議に出席した議長である会長及び監事を議事録署名人に指名した。書記は安芸事務総長が務める。

議事録署名人	会長 越山 賢一
	監事 山田 純之
	監事 吉川 賀恵

(3) 議決事項

第1号議案 2026-27 特任理事選任の件

議案書に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件は、定款及び特任理事規則に基づき、特任理事12名を選任するものであり、新任の田子氏については、北海道コンサドーレ札幌で広報・プロモーション業務に長く携わった経験を生かし、本協会の100周年記念事業の推進に寄与いただくこと、菅原氏については、北海道におけるウォーキングフットボールの普及・指導に尽力しており、今後の普及活動のさらなる推進に寄与いただくことを期待して推薦するとの説明があった。

【特任理事候補者(12名)】

高木 真一(1種)	大石橋計幸(3種)	尾見 秀樹(4種)	橋本 美湖(女子普及)
遠藤 祥悦(キッズ)	神谷 智昭(医学)	鈴木 宏和(障がい者)	鷺津 裕美(夢きたれ)
藤田 稔人(施設・渉外)	池端 一樹(施設・渉外)	田子 大地(100周年)	菅原 恭(普及)

説明の後、出席理事から質疑はなく、賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、原案のとおり可決された。

第2号議案 2026-27 名誉役員選任の件

議案書に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件は、名誉役員に関する規則及び本年度の名誉役員選任の考え方に基づき、名誉役員16名を選任するものであり、昨年度からの継続者に加え、新たに7名を候補者として推薦するとの説明があった。

【名誉役員候補者(16名)】

名誉会長

吉田 一彦(HKFA)

顧問

中村 博司(旭川)	佐々木博光(道北)	小松 実(HKFA)	鎌足 光正(HKFA)
小林 徹也(HKFA)	佐久間一郎(HKFA)	石井 肇(HKFA)	榊原 尚行(オホーツク)
溝口 昇(HKFA)	山脇 栄(札幌)	北林 剛(道フット)	前田 和男(小樽)
前田 孝一(小樽)			

参与

奥村 英俊（道北） 田中 裕之（HKFA）

説明の後、出席理事から質疑はなく、賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、原案のとおり可決された。

第3号議案 役員報酬の件

議案書に基づき、船田副会長より説明が行われた。

本件は、6月7日開催の定時評議員会において改正された「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規則」に基づき、常勤役員である会長及び専務理事の月額報酬を見直すものであり、会長を月額23万円、専務理事を月額43万5千円とし、年額合計798万円とするとの説明があった。

また、今回は、職務内容及び職責を踏まえた見直しであること、将来的には年齢にかかわらず常勤役員を配置できる環境を整える観点から、報酬のあり方について引き続き検討していく必要があるとの意見が述べられた。

説明の後、出席理事から質疑はなく、賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、原案のとおり可決された。

第4号議案 協会旗及び標章規程改正の件

議案書に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件は、役員等の名刺印刷に係る取扱いを見直すため、協会旗及び標章規程を改正するものであり、これまで片面印刷のみを対象としていた初回100枚の本協会負担を両面印刷にも適用すること、初回発注期限を就任年度の8月末までとすること、並びに、役職ごとに異なっていた自己負担額を一律とするとの説明があった。

説明の後、出席理事から質疑はなく、賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、原案のとおり可決された。

第5号議案 現物寄付資産の決算計上及び会計処理の件

議案書に基づき、長浜副会長より説明が行われた。

本件は、2025年度に一般社団法人札幌地区サッカー協会及び北海道少年サッカー50周年記念事業実行委員会から寄付を受けた日除けシェード及びガレージについて、本来2025年度決算に計上すべきところ未計上であったことから、2026年度の期首一般正味財産（純資産）を修正して処理することについての説明があった。あわせて、当該資産に係る税務上の対応については修正申告済みであり、公益目的に使用される財産であることから、税額への影響はないことが確認されている旨の説明があった。

現物寄付の内容

寄付日	設置場所	品目	評価額	寄付者
2025年8月7日	東雁来公園サッカー場	日除けシェード	787,047円	北海道少年サッカー50周年記念事業実行委員会
2025年11月27日	東雁来公園サッカー場	ガレージ	1,140,000円	一般社団法人 札幌地区サッカー協会

現物寄付合計額：1,927,047円

説明の後、出席理事から質疑はなく、賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、原案のとおり可決された。

第6号議案 2026-27 各種委員会(特別委員会)委員長選任の件

議案書に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件は、各種委員会組織運営規則に基づき、特別委員会委員長2名を選任するものであり、いずれも再任であるとの説明があった。

【特別委員会委員長候補者（2名）】

鷺津 裕美（夢きたれ特別委員会）

八島 隆志（マーケティング特別委員会）

説明の後、出席理事から質疑はなく、賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、原案のとおり可決された。

（4）報告事項

第1号報告 四役の所掌担務について

資料に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件は、2026-27年度の四役及び常務理事の所掌担務について整理したものであり、副会長は原則として常設委員会の委員長を兼任せず、協会全体の運営及び地区・ブロックとの連携に重点を置く体制としたことが報告された。

報告の後、出席理事より質疑・意見等はなく、これを了承した。

第2号報告 副会長の通信費について

資料に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件については、副会長の連絡調整等に係る実務負担を踏まえ、2026年度から副会長4名に対し、1人当たり年額3万円の通信費を支給することが報告された。

報告の後、出席理事より質疑・意見等はなく、これを了承した。

第3号報告 2026-27 部会長の委嘱について

資料に基づき、八島専務理事より説明が行われた。

本件については、各種委員会組織運営規則に基づき、女子委員会、技術委員会、総務委員会の計8部会の部会長を会長が委嘱したことが報告された。

【各種委員会部会長（8名）】

女子委員会

菖蒲 友幸（U-15 部会） 立野 智之（U-18 部会）

技術委員会

白崎 健策（ユース育成部会） 砂原 史朗（指導者養成部会） 櫻庭 慎二郎（総務部会）

尾形 行亮（普及部会）

総務委員会

八島 隆志（ウェルフェアオフィサー部会） 尾見 秀樹（すきまフットボール部会）

報告の後、出席理事より質疑・意見等はなく、これを了承した。

(5) その他

①HKFA中期ビジョンの進捗状況（越山会長）

2027年初頭に各委員会の取組を共有する報告会を開催予定であることが報告された。

②HKFAネクストプロジェクトの進捗状況（越山会長）

北海道サッカーの将来を担う人材の発掘・育成を目的とする本プロジェクトの参加者が決定した。今後、追加募集の予定があり、技術委員会・審判委員会に加え、各地区協会からも幅広く候補者の推薦を募ることとし、周知・協力が求められた。

③理事会のオブザーバー出席について（越山会長）

地区選出理事が理事会を欠席する場合の対応について、2023年度第1回理事会で確認した取扱いを改めて共有し、必要に応じて当該地区の副理事長にオブザーバーとして出席を求めることが報告された。

これに対し、中川理事より、副理事長以外の地区役員及び女子委員長欠席時のオブザーバー出席について質問があり、越山会長から、地区については副理事長の出席を基本とし、個別の事情については検討すること、委員会についても議題に応じて副委員長等の出席を検討する旨の回答があった。

④理事の任期制導入について（越山会長）

理事、監事及び各種委員会委員長の任期等について、次回理事会で制度改正案を協議する予定であることが報告された。あわせて、地区協会及び各委員会へのアンケートを実施し、その意見を踏まえながら制度設計を進めていくことが説明された。

これに対し、野呂理事より、任期制の導入を検討するに至った理由について質問があり、八島専務理事から、役職の長期化を防ぎ、一定の期間で交代していく仕組みは組織運営上重要であるとの考えから検討を進めている旨の回答があった。

⑤省エネルギー設備導入支援事業に係る事業計画の認定について（八島専務理事）

道サッカー協会事務所及び合宿所「夢きたれ」の照明設備LED化について、北海道の補助事業に申請した結果、事業計画が認定され、補助の内示を受けたことが報告された。

⑥北洋銀行「社会貢献活動団体募集」の件（八島専務理事）

「2026年度JFAフェスティバル事業」が北洋銀行社会貢献活動支援金に採択された。100万円の支援金を活用して運営スタッフ用ウェアを作成し、希望団体へ配布・着用していただくことで、一体感の向上に繋げる旨が報告された。

⑦Jリーグキャンプについて（八島専務理事）

本年度は北海道コンサドーレ札幌を含む12クラブが道内でキャンプを実施し、7月26日をもって全日程を終了したこと、今後、実施地区を対象に取組や課題等に関するアンケートを実施予定であることが報告された。

また、藤井理事より、トレーニングマッチにおける審判派遣について、各地区協会の協力により円滑に対応できたことへの感謝が述べられるとともに、審判員の強化につながる有意義な機会であることから、今後も各地区協会の力添えを得ながら取り組んでいきたいとの発言があった。

⑧キリン笑顔応援プロジェクトボール寄贈式（八島専務理事）

JFA とキリンによる「サッカー笑顔応援プロジェクト」により、札幌・旭川・十勝地区の小学校へサッカーボールを贈呈したことが報告された。また、各地区協会の協力により贈呈式を実施できたことについて、感謝の意が述べられた。

⑨今後の会議予定（安芸事務総長）

次回理事会は11月3日（火・祝）に開催する予定であることが報告された。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げ、20時08分に閉会を宣言した。

なお、WEB会議システムは終始異状なく作動した。

この議事録が正確であることを証するため、会長及び出席した監事は記名し押印する。

2026年7月28日

公益財団法人北海道サッカー協会 2026年度 第3回理事会

会 長 越 山 賢 一 印

監 事 山 田 純 之 印

監 事 久 野 賀 恵 (吉川 賀恵) 印